

防災訓練を実施しました

当協会は、島根県と「災害時における水道施設等の応急復旧等の
応援に関する協定」を締結しています。

この協定は、島根県内で災害が発生したときに、すみやかに水道
施設などを復旧させることを目的にしています。

この目的を果たすため私たちは、毎年防災訓練を実施しています。
今年も、9月11日に安来、松江の二地区で、情報伝達・参集訓練を
実施しました。他の地区でも今後訓練を実施します。

松江地区では、復旧作業に必要な掘削機械などの輸送訓練と、配
管模擬復旧訓練を実施しました。

災害はいつ、どこで発生するか分かりません。どんなときでも県民の
皆様に安全な水を届けることができるよう、私たちは日頃から努めて
います。

参集状況



掘削機器等輸送訓練

復旧作業内容の伝達



配管応急復旧模擬訓練



仮設給水装置設置訓練



【訓練の様子が報道されました】

災害想定し参集訓練

管工事協松江

、県管工事業協会松江支部(田本稔支部長)は11日、松江市内で災害復旧情報伝達・参集訓練を行い、会員50人が参加した。

大田市三瓶地区で震度6強の地震が起き、県から応援要請を受けた想定で、集合場所の山陰夕ボタ水道用材本社に参集。さらに、大田市内3カ所で漏水が発生したと想定し、出勤班が水道本管を応急復旧する模擬訓練も

水道管の応急復旧訓練をする会員=松江市内



行った。訓練は今年で5回目。田本支部長は「連絡や把握が早くなり、ライフラインを守る企業としての心構えが生かされている。実際の支援活動では業者同士の協力が重要になる」と話した。今後は土砂災害を想定した訓練もする考え。